

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

2017年12月19日に「手話言語の国際デー」が
国連総会で決議されました。

決議文では、手話言語が音声言語と対等であること
を認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連
加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める
手段を講じることを促進することとされています。

1951年9月23日に世界ろう連盟（WFD）が設立されたことにちなみ、

9月23日を「手話言語の国際デー」としています。毎年、活動テーマが決められており、

今年のテーマは「世界中のろう者が、どこでも手話言語でコミュニケーションできる社会へ！

（「A World Where Deaf People Everywhere Can Sign Anywhere!」）

全日本ろうあ連盟では2023は、『「世界そして日本を青色に！～手話言語をブルーライトで
輝かせよう～」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト2023』を行います。

全国各地の公共施設や名所等を9月23日に青色でライトアップすることで、

市民、地域、社会が一つとなって、「手話が言語である」ことへの認知を広めていきます。

※ 青色は世界ろう連盟や国連のロゴの色を示しており、平和を表しています。

ごめ
ん



あ
り
が
ご
う



特設ページへ！

